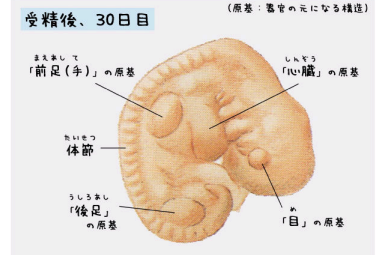
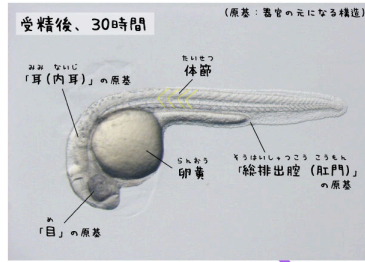
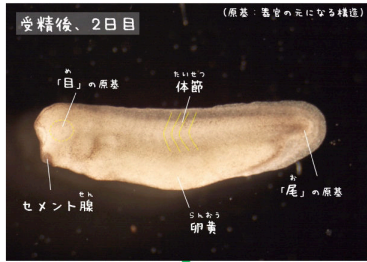
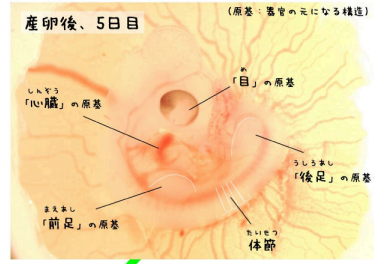
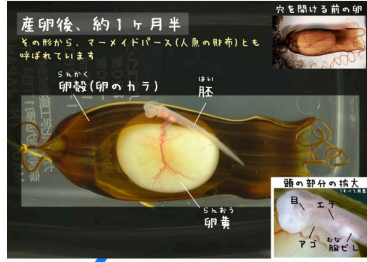
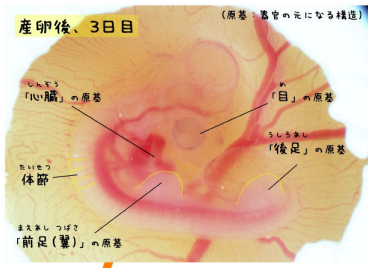


答え合わせ どの胚が、どの動物になるのか。分かりましたか？



豆知識1

ニワトリ胚とヤモリ胚、とってもよく似ていますね。でも、よく見ると、ちょっと違います。たとえば顔、ヤモリ胚の方が鼻先がちょっととがっています。ミツポの長さもヤモリ胚の方が長いです。成体のかたちの違いが、あでにあらわれているんですね。

豆知識2

カエル胚の「セメント腺」って何でしょう？ 実はこれは発生の間だけあらわれる構造で、おぼろげの粘液を出して、発生の間に水の中をあくちこちに流されないように吸盤のように体をくっつける役割をもっています。

豆知識3

サメ胚は、海草みたいな茶色の変った形のカラの中にいましたね。その中にあった青白い丸いもの、ニワトリの卵の黄身(きみ)と同じものだって、気がつきましたか？ ニワトリ胚やヤモリ胚、サメ胚は、おなかから出ている血管をこの黄身に張りめぐらせて、そこから体作りの栄養をとっています。哺乳類のヒト胚は、黄身からではなくお母さんから胎盤(たいばん)という構造を通して栄養をうけとります。でも、ヒト胚もおなか(おへそ)の血管を通して栄養を受け取るころはいっしょです。

カエル胚やゼブラフィッシュ胚はちょっと違って、黄身の成分と同じもの(卵黄)がおなかの中に詰まっています。その栄養を使います。

